

Ⅶ 教育委員会の活動の点検及び評価

1 教育委員会活動実績

4月3日（月）	第1回臨時教育委員会・教職員着任式
4月12日（水）	4月愛日地方教育事務協議会
4月28日（金）	4月定例教育委員会
5月11日（木）	愛知県町村教育長協議会定期総会・研修会
5月12日（金）	5月愛日地方教育事務協議会
5月26日（金）	5月定例教育委員会
6月26日（月）	6月定例教育委員会
7月5日（水）	愛知県市町村教育委員会連合会第57回定期総会
7月6日（木）	7月愛日地方教育事務協議会
7月24日（月）	7月定例教育委員会
8月23日（水）	8月定例教育委員会
9月25日（月）	9月定例教育委員会
10月17日（火）	10月愛日地方教育事務協議会
10月27日（金）	尾張部都市教育長・尾張部町村教育長会議合同会議
10月27日（金）	10月定例教育委員会
11月24日（金）	愛知県町村教育長協議会研修会
11月27日（月）	11月定例教育委員会
12月25日（月）	12月定例教育委員会
1月11日（木）	1月愛日地方教育事務協議会
1月29日（月）	1月定例教育委員会
2月21日（水）	2月定例教育委員会
3月8日（金）	3月愛日地方教育事務協議会
3月25日（月）	3月定例教育委員会
3月29日（金）	教職員退職辞令伝達式

2 教育委員会会議（議案、専承）について

(1) 第1回臨時会（令和5年4月3日）

議事	(1) 教育長職務代理者の選出について
----	---------------------

(2) 4月定例会（令和5年4月28日）

議案	(1) 東郷町立小中学校の休業日の指定について (2) 後援名義の使用許可について (3) 後援名義の使用許可について
専承	(1) 東郷町社会教育委員の委嘱について (2) 東郷町図書館協議会委員の委嘱について (3) 東郷町スポーツ推進審議会委員の委嘱について (4) 東郷町給食センター給食用物資選定委員会委員の委嘱について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 東郷町立図書館の利用状況について (2) 4月校長会について (3) 令和5年度校長会組織について (4) 令和5年4月7日現在児童生徒数及び学級数について (5) 令和4年度中学校卒業生進路先状況について (6) 令和5年度私立・国立中学校入学者について (7) 後援名義の使用許可について (8) 令和5年度学校給食献立計画について

注) 専承とは、緊急に処理する必要がある、かつ、委員会の会議を招集する暇がないときにおいて教育長が専決処理し、次の委員会において承認を求めたもの。

(3) 5月定例会（令和5年5月26日）

議案	(1) 後援名義の使用許可について (2) 町指定文化財の指定について (3) 東郷町給食センター設置条例施行規則の一部改正について (4) 令和5年度東郷町学校評議員の委嘱について (5) 東郷町立小中学校における食物アレルギー対応検討委員の委嘱について (6) 東郷町給食センター運営委員会委員の委嘱について
専承	(1) 東郷町図書館協議会委員の委嘱について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 5月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 令和4年度東郷町スポーツ協会各部事業報告について (4) 令和5年度東郷町スポーツ協会後援名義申請について

(4) 6月定例会（令和5年6月26日）

議案	(1) 後援名義の使用許可について
----	-------------------

専承	(1) 令和5年度一般会計補正予算（第2号）に対する意見について (2) 令和5年度一般会計補正予算（第3号）に対する意見について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 6月校長会について (2) 後援名義の使用申請について (2) 要保護・準要保護児童生徒数について

(5) 7月定例会（令和5年7月24日）

議案	(1) 令和6年度使用小中学校教科用図書採択について (2) 東郷町教育委員会評価委員の委嘱について
専承	(1) 令和5年度給食用物資納入業者の承認について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 7月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

(6) 8月定例会（令和5年8月23日）

議案	(1) 東郷町少人数学級編制の実施に係る任期付町費負担教員の任用等に関する条例の一部改正について (2) 令和5年度一般会計補正予算（第5号）に対する意見について
教育長報告	(1) 9月議会一般質問について
報告事項	(1) 夏季休業中について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について (4) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書（令和4年度）の提出について

(7) 9月定例会（令和5年9月25日）

議案	(1) 後援名義の使用申請について
専承	(1) 東郷町少人数学級編制の実施に係る任期付町費負担教員の任用等に関する規則の一部改正について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 9月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

(8) 10月定例会（令和5年10月27日）

議案	(1) 令和6年度教職員定期人事異動方針の策定について (2) 後援名義の使用許可について (3) 後援名義の使用許可について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 10月校長会について (2) 後援名義の使用許可について

	(3) 要保護・準要保護児童生徒数について
--	-----------------------

(9) 11月定例会（令和5年11月27日）

議案	(1) 東郷町少人数学級編成の実施に係る任期付町費負担教員の任用等に関する条例の一部改正について (2) 令和5年度一般会計補正予算（第7号）に対する意見について (3) 後援名義の使用許可について (4) 教育委員会感謝について
専承	(1) 東郷町図書館協議会委員の委嘱について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 11月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について
協議事項	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和4年度）に対する評価委員の意見に係る今後の対応について

(10) 12月定例会（令和5年12月25日）

議案	(1) 後援名義の使用許可について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 12月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

(11) 1月定例会（令和6年1月29日）

議案	(1) 後援名義の使用許可について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 1月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

(12) 2月定例会（令和6年2月21日）

議案	(1) 令和6年度東郷町教育の一般方針について (2) 令和5年度一般会計補正予算（第9号）に対する意見について (3) 令和5年度一般会計補正予算（第10号）に対する意見について (4) 令和6年度一般会計当初予算について (5) 東郷町立小中学校の休業日の指定について (6) 令和6年度東郷町立小中学校教職員定期人事異動の内申について (7) 学校医の委嘱について (8) 学校歯科医の委嘱について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 2月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

(13) 3月定例会（令和6年3月25日）

議案	(1) 東郷町学校運営協議会規則の一部改正について (2) 東郷町立小中学校医療的ケア事業実施要綱の一部改正について (3) 東郷町学校教育支援スクールサポーター事業実施要綱の一部改正について (4) 東郷町中学校部活動地域移行検討委員会設置要綱の制定について (5) 後援名義の使用許可について (6) 後援名義の使用許可について (7) 教育委員会感謝について (8) 学校薬剤師の委嘱について (9) 東郷町スポーツ推進委員の委嘱について (10) 東郷町体力づくり推進委員の委嘱について
教育長報告	(1) 校長への指導事項等について
報告事項	(1) 3月校長会について (2) 後援名義の使用許可について (3) 要保護・準要保護児童生徒数について

3 訪問・視察

(1) 学校訪問

町内の小中学校9校を2グループに分け、隔年で各学校を訪問し、それぞれの学校の取り組みについて直接知る機会を持っています。

令和5年度は、次の4校を訪問し、子どもたちの学びの様子や学校の運営方針、施設、教育環境、授業等さまざまな視点で、その学校の良さや抱えている課題などを把握することに努めました。

ア ねらい

① 学校教育における指導の重点並びに学校経営の視点の徹底を図る。

◆令和5年度 あいちの教育ビジョン2025 基本理念

「自らを高めること」と「社会の担い手となること」を基本とし、
ふるさとあいちの文化・風土に誇りをもち、世界的視野で主体的に深く学び、
かけがえのない生命や自分らしさ、多様な人々の存在を尊重する豊かな人間性と
「知・徳・体」にわたる生きる力を育む、あいちの教育を進めます。

② 小・中学校教育計画の実施状況を把握し、問題点について指導助言をする。

③ 学校教育指導上の問題点、児童生徒の指導の実際について指導助言をする。

④ 学校における現職教育（初任者研修、教職経験者研修を含む。）の推進を図る。

イ 訪問日時・学校

- ① 令和5年6月1日（木） 春木台小学校
- ② 令和5年6月15日（木） 東郷中学校
- ③ 令和5年10月23日（月） 春木中学校
- ④ 令和5年11月2日（木） 諸輪中学校

ウ 内 容

学校概要説明（学校経営説明）、授業参観

エ 各学校の研究テーマ

学 校 名	研 究 テ ー マ
東郷小学校	学びあいを通して、主体的な学びを深める授業づくり
諸輪小学校	対話を繰り返す中で、社会的事象を多角的に考えようとする児童の育成
音貝小学校	わかる、楽しい、もっとやってみたいを引き出す授業を目指して
高嶺小学校	探求心をもって授業に取り組む児童の育成
兵庫小学校	主体的に学び合える児童の育成

(2) 学校経営説明会

- ア 令和5年6月20日（火） 諸輪小学校
- イ 令和5年6月21日（水） 東郷小学校
- ウ 令和5年6月23日（金） 高嶺小学校
- エ 令和5年6月29日（木） 兵庫小学校
- オ 令和5年7月4日（火） 音貝小学校

4 成果・課題等

令和5年度の教育委員会の活動は、概ね当初の予定どおり実施することができたが、今後も教育委員会活動の充実を目指し、見直しや工夫を継続していく必要がある。

(1) 情報発信

町ホームページで、教育委員会関係の情報発信をすることができた。

(2) 教育委員会会議

議案の内容がわかりやすい会議資料を作成するとともに、簡潔説明に努め、スムーズに会議を進めることができた。

(3) 学校訪問・行政視察

春木台小学校、東郷中学校、春木中学校、諸輪中学校の4校を学校訪問し、学校の経営方針、施設、教育環境、授業等について、学校が抱えている課題や実情を把握することができた。学校訪問を実施しなかった学校においては、学校経営説明会を実施したので、学校訪問又は学校経営説明会のどちらかで、全小中学校を訪れることができ、学校の現状が確認できた。

VIII 教育委員会評価委員の意見

令和5年度に東郷町教育委員会が実施した事務及び東郷町教育委員会の活動について、教育委員会評価委員2名から意見をいただきました。

東郷町教育委員会評価委員 杉浦 慶一郎

「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書（令和5年度）」（以下「結果報告書」という。）を拝読いたしますと、東郷町教育委員会においては学校教育、学校給食、生涯学習の各分野において、それぞれの課題を踏まえて計画的に事業が実施され、着実な成果を積み重ねていることが確認出来ました。

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が第5類に移行して、社会生活が次第に落ち着きを取り戻してきた1年でした。学校教育においても、停滞しがちであった子ども達の活動に関する制限が緩和され、以前の形を取り戻し始めた年となりました。そのような中、学校教育の改善について、コロナ禍の中にあっても東郷町教育委員会では着実に進められてきたことを承知していますが、報告書からは令和5年度は教育環境の新たな改善に向けて大きな歩みを踏み出した一年となったと感じました。

学校における適切な学級人数については様々な議論がありますが、一人一人の子ども達にとって、先生から適切な配慮・対応を受けるためには、学級人数が少ない方がよいことは明らかだろうと思います。東郷町において小学校6年生の35人学級を町独自で導入したことや、令和6年度から小学校1年生から3年生までで30人学級を開始する教員確保のため、県や他市よりも高い給与水準となるよう条例を改正したことは、子ども達にとって、ひいては保護者にとって東郷町に住むことの良さを実感できる改善であり、「いつまでも住み続けたいまち」につながるものだと思います。令和6年度以降の改善内容・方向性には「小学校全学年での30人学級導入を目指す」との記載がありましたが、着実に実施されることを希望します。

学校では子ども達のために様々な活動を行っていますが、地域の協力なしに充実させていくことには限界があります。学校と地域が協力して子ども達の教育に取り組むことが大切であり、それを仕組みの点から確保できる学校運営協議会が果たす役割には大きなものがあります。現在、東郷町においても導入されていますが、さらに拡大・充実していくことが大切です。学校の教育活動に地域の方が参画することが「町民みんなでのまちづくり」にもつながるのだと思います。

学校が子ども達のために充実した教育を行うためには、教員の力だけではなく様々な専門家の力も必要となります。特に子ども達の学校生活、友人関係や家庭問題などの悩みを受け止めることは先生の力だけでは足りません。その意味においてもスクールカウンセラー、心の教室相談員、スクールサポーターなどの事業はさらに充実させていくことが必要です。また、子ども達の悩みの原因が本人と言うよりも家庭や周囲の環境にあることも多いことから、学校だけではなく家庭や関係機関と連携して問題を解決していこうとするスクールソーシャルワーカーも重要です。東郷町においてスクールソーシャルワーカーを複数名を配置していることは適切な対応だと思います。

また、近年、不登校や不登校傾向にある子ども達が増加傾向にあると言われている中で、そのような状況にある子ども達の状況は様々であることから、これも教員の力だけで解決していくことは困難です。多様な方策で対応していく必要があります。現在、教育支援センター「ハートフル東郷」を設置している東郷町が、校内教育支援センターの設置を検討していることが記載されていました。一人でも多くの子どもが充実した人生を送ることができるよう、今後とも様々な取組を進めていっていただきたいと思います。

学校は法令に守られていて、これに従って教育を行っていくことは当然のことですが、このところ学校現場に関連する事案で、法的な判断・説明を必要とする場面が従来よりも増えてきていると感じます。学校が説明責任、法的根拠を問われることも増えているように感じます。法律の専門家ではない教員には判断しがたい事柄や、保護者や地域からの要望への対応においても法的な判断・説明が必要とされる事案が増えてきていると感じます。そのような場合に、スクールロイヤーの助言が得られることは、学校にとって有り難いことであり、判断のよりどころになります。学校教育が説明責任を果たし、適切な対応が行われるためにも、学校の応援者としての法律の専門家の存在は、今後の学校教育に欠かせないと考えます。

昨年度の意見書でも書きましたが、学校施設設備の問題については、関心を持っています。

東郷町では老朽化対策について令和4年3月に改定された「東郷町公共施設等総合管理計画」に基づき、対応が行われていると承知しており、令和5年度に町内の学校で最も建築年度の古い諸輪小学校の長寿命化改修工事の実施設計が行われたことは、計画の着実な実施を示すものと理解します。建築経過年数を見ますと対応すべき校舎が他にも多いことから、今後とも継続して長寿命化改修工事や大規模改造工事が必要です。子ども達の安心・安全な教育環境の点からも計画的な対応をお願いします。また、総合体育館については令和6年度にアリーナの天井等改修工事が予定しており、その設計業務が令和5年度に実施されたことが記載されていました。円滑に工事が実施され、体育館としての機能が充実することを望みます。今後は、町民会館や給食センターなど、老朽化により対応が必要である施設について、公共施設の改修について予算確保に尽力いただき、計画的に事業が行われることを期待します。

学校の改修においては、校舎そのものの改築も大切ですが、施設・設備の更新も大切です。

国では、公立学校実態調査の一環として、公立小中学校施設において、トイレ改修や空調設置などにより、どのような教育環境向上の効果があつたか令和3年度に調査を行っています。トイレの洋式化については、「各家庭における洋式トイレの普及状況、あるいはバリアフリー化、防災機能の強化などの観点からも、今後はトイレの洋式化が進められるものと考えています。」と述べられており、「児童・生徒がトイレを避けなくなり、健康が改善」、「トイレの設備を更新し、管理経費も節減」、「衛生面の向上」など、その効果を示しています。令和5年9月1日現在の東郷町の小中学校における洋式化率は72.9%であり、全国平均の68.3%よりも高率ですが、保護者の家庭トイレの洋式化率は全国平均で約9割ですから、学校においても洋式化へのできるだけ早い対応を望みます。

このところ地球温暖化の影響でしょうか、夏の暑さが以前よりも厳しくなったと感じます。

建物の中にも空調設備がないと耐えがたい暑さを感じます。学校における空調（冷房）設備については、子ども達の学習環境への配慮として是非とも必要なものだと思います。

令和4年9月1日現在の全国調査では普通教室、特別教室の対応は進みつつありますが、体育館の空調設備については設置がまだまだ進まず、全国平均 11.9%と低い状況である状況にあります。東郷町の学校体育館の現状は承知していませんが、報告書には令和6年度以降の改善内容に「屋内運動場の空調整備の設計を行います」とあることから、前向きに取り組んでいただいていることが分かりました。着実な対応をお願いします。

給食事業について、安全・安心でおいしい給食の提供と食に関する指導の推進を重点に、今年度も「かみかみメニューの日」や「にこにこ給食」など特徴的な事業を実施しています。さらに地産地消推進事業として東郷町産食材8品目は公費で給食を提供することや、有機野菜を使用した給食を実施するなど、給食を通じて多くの学びが得られるように配慮していることが報告書からも読み取れます。学校給食によって子ども達にとって学校生活がより豊かで楽しいものとなるよう事業を進めていただきたいと思います。

愛知池で行われる東郷町民レガッタについて、コロナ禍の中で参加者について制限していましたが、令和5年度からは町民以外の方もオープン参加できる従来の方法で実施されているとありました。町民の生涯学習の一環としてのスポーツ振興として、ボートの町東郷を全国に発信するすばらしい催しだと思います。参加選手の安全を確保しながら、多くの方に楽しんでいただけるものとなるよう関係者の努力を期待したいと思います。

報告書には「成果指標」として令和2年度から令和5年度までの目標値と実績値が挙げられています。この期間はコロナ禍中にあった時期であり、各事業の遂行にたいへん苦勞いただいたと推察いたします。その中で、着実な成果を収めている事業が多いと拝見しました。一方で、コロナ禍以前の状況にまだ戻り切れていない事業もあるようです。コロナ禍の中で培った経験を生かして、たゆまず事業の改善を行っていくことが大切です。

子どもたちのためにさらに充実した教育が行われるよう教育委員会の諸事業を進めていただきますようお願いします。

東郷町教育委員会評価委員 柘植 まゆみ

◆ 学校教育課

○ 児童生徒の安全指導

- ・ 養護教諭補助員が4名配置され、養護教諭が研修や修学旅行・野外活動等の学校行事で学校不在の小中学校に派遣していただけるので、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるようになった。
- ・ 昨年10月から県で実施されることになったラーケーション対応で小中学校に非常勤講師等が設置された。町内の小中学校に勤務している教員は、家族のために遠慮することなく休暇を取得することができる。

○ 学校、家庭、地域社会との連携

- ・ 学校運営協議会が東郷小学校を除く5小学校でスタートし、学校、家庭、地域社会の三者が今まで以上にスムーズに連携できるようになっていくのではないかと期待している。学校運営協議会では、多くの委員から学校をサポートするために前向きな意見が出されていることを聞いた。学校現場は多忙を極めているので、子どもたちの育成、学校の環境整備等のためにコミュニティスクール活動が充実するようになれば理想的であ

る。

○ 生徒指導の充実

- ・ 町内9小中学校の不登校児童生徒数が、令和5年度には171人もいたということである。そして今後もますます増加傾向になるのではないかと考えられる。東郷町には自然環境に恵まれた愛知池のほとりにハートフル東郷があるが、利用している児童生徒はたった5人ということである。施設や職員の関係で多くの児童生徒を受け入れることは難しいので、各小中学校で校内支援教育センターの設置も検討されているようである。不登校児童生徒対象の相談施設が校内に設置されるのはよいが、児童生徒の居場所として適切であるのか疑問に思っている。ハートフル東郷を交通の便がよく町の中心部に位置する「いこまい館」あるいは「町民会館」に移転させることも視野に入れていただきたい。
- ・ 県から派遣されるスクールカウンセラーだけでなく、町の予算で心の教室相談員やスクールサポーターを配置していただき、児童生徒・保護者だけでなく教職員も助かっている。心の教室相談員やスクールサポーターは、児童生徒と年齢的にも近い方が担当しているので、相談件数も多いのではないかと思っている。いじめや問題行動を未然に防止するためにも有効であるので、教員志望の大学生のスカウトを積極的に行うことが大切である。

○ 学校施設等の整備

- ・ 小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒は増加傾向にあり、最近では重度の障害児でも特別支援学校ではなく地域の小中学校を希望する保護者もいる。そのため、特別支援学級の担任だけでは十分な指導ができないことが多く、学校生活支援員の配置は必須である。東郷町では現在小中学校で61人の学校生活支援員・学校生活介護員が配置されている。私は教員として勤務しているとき、日進市で特別支援学級を担当していたが、東郷町は他の市町と比較しても充実しており、学校現場からは好評であった。
- ・ 本年度に諸輪小学校南校舎の長寿化工事が行われるということであるが、大規模改修は多額の費用を要するので、これからも長期的な計画のもと国庫財源等を活用して進めていただきたい。
- ・ 近年、夏の暑さがますます厳しくなっているため、校舎内の教室だけでなく体育館の空調整備は急務である。限られた予算の中ではあるが、早急に進めていただきたい。

○ 情報化、国際化に対応した教育の推進

- ・ 国際理解教育のため、小学校1・2年生対象の小学校英語活動事業やオーストラリアの姉妹校と交流が行われている。これらの事業は未来を担う子供たちにとって貴重な経験になるので、準備等が大変であると思うが継続発展を期待している。
- ・ 昨今スマホが子どもたちにも急速に普及し、それによってもたらされる様々なトラブルも発生している。情報モラル教育は、喫緊の課題であり本来家庭で行うべきであると思うが、学校でも作成された指導計画に基づいて早急に進めていただきたい。

◆ 生涯学習課

○ 青少年の健全育成と家庭教育の充実

- ・ 各小学校の家庭教育推進委員会において教育講演会や親子ふれあい講座等が企画・実施されている。各小学校単位ではなく町全体で、東京・パリオリンピックに参加して大活躍した高嶺小学校出身の馬瓜エブリン・ステファニー姉妹に講演を依頼することはできないかと思う。エブリンはタレントや解説者としても活躍しているので、スケジュール的にも予算的にも難しいかもしれないが。

○ 文化・芸術の振興

- ・ 町民会館文化ふれあい事業で春風亭昇太独演会が開催され大盛況であったと聞いている。昨年度から自主文化事業の開催回数を減らして、知名度が高く集客力があるイベントを実施するように大改革が行われたということである。出演者の交渉が非常に難しいとは思いますが、今後も継続していただきたい。

○ 文化財の保護と継承

- ・ 歴史講座「いざ出陣！小牧・長久手の戦いの舞台へ」で、岩崎城歴史記念館学芸員の内貴健太氏は、東郷町の城や武将がこの戦いとどのように関わったかをわかりやすく説明されたと参加者から話を聞いた。最近、歴史や城に興味を持っている人が多いので、PR次第でさらに参加者が増えるのではないかと思います。

○ 図書館活動の推進

- ・ 学習室の改修等利用者のニーズに合わせて、さまざまな工夫がされており、令和5年度の入館者は一日平均約350人となっている。ただ、近隣と自治体(みよし市・日進市等)と比較すると施設・設備の老朽化は否めない。将来的には新図書館の建設を計画していただきたい。

○ スポーツの普及・振興

- ・ 町民レガッタは他の市町にはできない東郷町独自の特色あるイベントなので、新型コロナの影響で開催することができなかった年度もあったが、未来永劫続けていくことができるように創意工夫を凝らして実施していただきたい。
- ・ 昨年9月、高嶺小学校の6年生を対象にボート体験学習が実施された。他の小学校でも実施できればボートに興味関心をもつ子どもたちが増加し、「ボートのまち東郷」の裾野が広がっていくのではないかと思います。
- ・ スポーツ事業開催事業として、昨年度町民ハイキングや「TOGO 春のらららスポーツまつり」が実施された。幅広い層の町民が参加できるような内容であるということだが、高齢者の健康寿命を延ばす事業としても有効である。すばらしい企画であるので、さらに参加者が増加するように工夫していただきたい。

◆ 給食センター

○ 安全・安心でおいしい給食の提供

- ・ 地場産物の使用を推進し、東郷町産食材を給食で使った「にこにこ給食」を昨年度は9回も実施していただいたが、これからも毎年どんどん増やしていく計画であるということである。JA や食材を提供してくださる生産者との交渉は簡単ではないが、子どもたちの笑顔のために継続・拡大していただきたい。